

学校自己評価報告会資料

令和3年度 飯田市立竜東中学校 自己評価表（三段階評価 ◎ ○ △：得点換算 3.0 以下～2.5 以下～1.5 以下～）

| 学校教育目標 | めざす生徒の姿 | 総合評価 |
|--------|--|---|
| ゆたかさ | 「一歩進んだ私」になる ※詳しくは裏面を参照 | 「一歩進んだ私になる」という意識が学年が上がるにつれ高い。その意識の高い上級生を見て下級生があこがれを持つ関係性になっている。目標を持ち取り組もうとしている生徒が増えてきている。さらに、自分たちの思いを積極的に伝え合い学校生活を向上させていけるとよい。職員はそのような生徒たちの姿を期待し支えていきたい。 |
| たしかさ | 本年度の重点 | 来年度の方向 |
| たくましさ | 重点1 「学びの達人」自分の考えを深める授業をみんなでつくる 重点2 「心磨き活動」自分を高め、生きがいのある学校生活 重点3 「地域との連携」人と繋がり、地域に貢献していく | ICTの効果的な活用、みとどけを大切に、今後も学力の定着につなげていきたい。また、生徒が主体的に学び合う授業づくりを心掛けていきたい。重点②が一番の課題と感ずるため、気づき清掃について学校全体としてどのように取り組むかを明確にし、心の成長にもつなげていきたい。また、地域連携については、持続可能な関係を築いていきたい。 |

| 対象 | 評価項目（観点） | 実績、成果や課題など | 評価 |
|--------------|-------------------------------|---|----|
| 重点① 学びの達人 | ねらい・めりはり・みとどけの実施 | 3つの観点を意識した授業が実践されている。みとどけを確実にし学力の定着につなげる。 | ○ |
| | 主体的・対話的で深い学びの授業づくり、学び合いの時間の確保 | ペアやグループでの学び合う時間が多くの授業の中で確保されている。必要感のある学び合い、主体的な学びにさらにしていきたい。 | ○ |
| | ICTの効果的な活用（思考力） | 教科学習だけでなく生徒会等にも効果的に活用が広がっている。個人PC等への個々の考えの記入が抵抗なくでき、互いの考えの共有につながっている。 | ◎ |
| | 授業のUD化 | 生徒目線で授業準備を意識して実施している。落ち着いた教室環境に心がけている。 | ○ |
| | 校区6つの約束 | 学校全体として意識が薄くなっている。生徒会と連携するなど意識して取り組む体制づくりが必要。 | ○ |
| | 学力検査、授業アンケートの分析→授業改善 | 結果を真摯に受け止め、各教科において授業改善に努めることができた。学力定着につなげるために研究・分析を深めたい。 | ◎ |
| | 学力向上月間個別学習支援 | 主体的に学ぶ雰囲気を向上させていきたい。（個人、学級）柔軟な個別支援、対応を考えたい。 | ○ |
| | 午後学活家庭学習計画、S1グランプリ | 自学は、全校集会でも扱い定着し取り組みが向上。学習時間向上に向けては今後の課題。 | ○ |

| 学校運営 | 評価項目（観点） | 実績、成果や課題など | 評価 |
|------|----------|---|----|
| 学校運営 | 組織・校務分掌 | 一人の負担が大きい、責任感と協力し合える職員集団として業務遂行できている。 | ○ |
| | 連携・情報発信 | 通信等で学校の様子を家庭や地域に発信できている。職員間の情報共有をさらに大切にしたい。 | ◎ |

| 対象 | 評価項目（観点） | 実績、成果や課題など | 評価 |
|--------------|-----------------------------|---|----|
| 重点② 心磨き活動 | あかるい挨拶 | 上級生から下級生へと挨拶の良さが伝わり、学校全体として取り組んでいる。個人差が課題。 | ◎ |
| | 気づき清掃 | 清掃に取り組んではいるが、気づき清掃に対する意識が職員も生徒も低い。意識の向上が必要。 | ○ |
| | 短学活の歌全校音楽集会 | コロナ禍、工夫し学年や全校で取り組めた。気持ちのこもった全校合唱を作り上げることができた。 | ○ |
| | 種から育てる花壇づくり | FBCは中止でしたが生徒会中心に素晴らしい花壇活動ができた。持続可能な花壇活動への転換が必要。 | ◎ |
| | 生徒会CM、さららwalkで心身を磨く | 徒歩通学や自転車通学の生徒が増えてきた。CMは目的を明確にし、種目を考えたい。 | ○ |
| | 人権月間、いじめ追放宣言、違いを認めいじめをゆるさない | 縦割りで言う全校道徳、校長講話、講演会により、人権意識が高まっている。アンケートや諸検査を学級づくり、個別指導につなげていく。 | ◎ |
| | 道徳の充実 | 担任だけでなく学年職員による道徳授業が充実していた。生徒が様々な価値観に触れ考えられた。 | ◎ |
| | 主体的な取り組み自分を磨く部活動 | 限られた時間の中で自主的な部活動となっている。部活動が学校生活充実にもつながっている。 | ◎ |
| 重点③ 地域連携 | キャリア教育の充実 | 職場体験、実習、進路講話は生徒にとって有意義な活動となっている。校区内へ出て地域とつながる活動も必要。 | ◎ |
| | 地域との関わり、役立つ自分 | 地域と繋がり中学生が主体となる活動は大切にしていきたい。また、地域からの要望も大切に考えたい。 | ◎ |
| | 地域・家庭と連携ふるさと竜東の集い等 | 生徒の健康面など帰宅後の生活や休日の生活について家庭との連携を大切にしていきたい。 | ○ |
| | 命の学習 | 目的、方法を検討し、さらに意義ある学習としたい。 | ○ |